

倫理委員会審議内容

令和5年7月20日開催

No.1	申請者：精神科医長 久保 彩子
課 題	医療観察法通院処遇の実態把握と課題に関するアンケート調査
研究の概要	<p>医療観察法処遇には入院処遇と外来処遇があり、入院処遇を経た対象者あるいは当初審判において通院処遇となった対象者は通院医療機関へ通院する。指定通院医療機関の47%は、対応が難しい事例があると答えているが、そのような対象者の背景や指定通院医療機関が再他害の未然防止の観点でどのような有効な支援が展開しているのかについて明らかになっていない。</p> <p>本課題は、全国の指定通院医療機関にアンケート調査を行い、通院複雑事例の背景について量的データを収集し入院処遇中の情報と連結させることにより、その背景や入院複雑事例との異同を明らかにする。加えて通院複雑事例に対し、どのような有効な支援が行われているかについて調査し、医療観察法通院処遇における課題の整理とその解決策の確立に向けた基礎的資料となることを目的とする。</p>
判 定	承認
利益相反審査判定	承認